

「常磐沖-4、5」の試掘結果について

平成 11 年 8 月 4 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（社長：磯野 啓）は、磐城沖ガス田南方の新規構造において、試掘井常磐沖-4、5の掘削を行い、常磐沖-5においてフローテストの結果、天然ガスの存在を確認しました。

当社の全額出資子会社である磐城沖石油開発（株）はエッソグループとの共同事業として、現在、磐城沖ガス田において天然ガス、コンデンセートを生産し、東京電力（株）広野火力発電所に供給しておりますが、今般、当社鉱区に存在する同ガス田南方の未探鉱構造である「PS 構造」に、国の助成を受け試掘を行いました。常磐沖-4 においては残念ながら天然ガスの存在を確認することは出来ませんでした。常磐沖-5 は 7 月 20 日、3100m にて掘止め、フローテストを実施したところ、日産約 100 万 Nm³ の天然ガスの産出を確認いたしました。

なお、同試掘井は種々の技術データを取得後廃坑いたしますが、今後これらのデータを基に同構造の埋蔵量を評価すると共に、平成 9 年に磐城沖石油開発（株）が発見した「PN 構造」も併せて今後の方針を慎重に検討していく予定です。

1. 試掘位置：福島県いわき市久之浜沖合 約 32km、水深 144.5m
2. 開坑日／掘止め日：常磐沖-5 平成 11 年 7 月 7 日／7 月 20 日
3. 掘削深度：3,100m
4. 試掘結果：8 月 3 日よりフローテストを実施し、以下の結果を得た。
5. テスト深度：2,889m～2,925m
6. 日産量：約 100 万 Nm³／日

以上

